

第5回 港湾施設の維持管理等に関する検討会 議事概要

日時： 平成26年2月4日（火） 10：30～12：30

場所： 中央合同庁舎2号館低層棟1階 共用会議室6

○事務局より、①港湾の施設の点検診断ガイドライン(案)の検討状況について報告した後に、②今後の港湾施設の維持管理等のあり方(案)について説明し、委員による意見交換を行った。

○主なご意見は下記のとおり。

- ・ 的確な維持管理の推進にあたっては、施設構造上の弱点を踏まえた点検を行うとともに、老朽化しやすい箇所等の対策を反映した設計とすることも重要。
- ・ 維持管理に関して設計段階から配慮すべき事項としては、点検の容易さのほか、補修や撤去の容易さも考えられる。
- ・ 従来の技術基準では、新規に建設する際の設計を標準としているため、今後は老朽化した施設を補修・改良する際の設計にも留意した技術基準とすることが重要。
- ・ 適切な維持管理の推進にあたっては、施設の施工情報の活用も重要な要素であるため、施設を整備した者から管理する者に対して施工情報を確実に引き継げるよう、データベース等の活用を図ることが重要。
- ・ 新技術の開発・発掘にあたっては、維持管理に係る技術的な課題やニーズについて国が戦略的な方針を立てたうえで、研究機関や民間等へ情報発信することが重要。

○今回頂いたご意見を踏まえ、港湾施設の維持管理等の課題に対する対応方針を取り纏めることとなった。